

- ・リンゴ新品種で収入アップ
 - ・農業者所得補償制度事業
 - ・漬け物の郷づくりに取り組んで
 - ・湿害に強い大豆の栽培法
 - ・所得が増える花き栽培
 - ・町に活気を呼ぶグリーン・ツーリズム
 - ・世界の中の日本の農業
- 講師 見城美枝子氏
などを学び、また視察研修では、ミニトマトの大規模施設栽培
(有ま)ころ農場/弘前市)

鶴田町農村環境改善センター豊明館および国際交流会館において「平成22年度鶴田町農業大学講座」が開催され、延べ240人の受講生(主に農業経営者)が、生産技術向上や経営の安定化について学びました。

鶴田町農業大学講座

2月22日(火)～24日(木)、



△TPPIについて分かりやすく説明する見城氏



△りんごの新品種について解説する工藤忠三氏

施設園芸の新技术について(県産業技術センター農林総合研究所)を視察しました。最終日に行われた見城美枝子氏の講演会には受講生のほかたくさんの方々も聴講に訪れ、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)についての分かりやすい講義に熱心に耳を傾けていました。



・中国農業発展集団総公司 劉(りゅう) 董事長と中野町長 右から田名部匡代農林水産大臣政務次官、太田一民氏

県産リンゴを中国市場へ

1月28日(金)、東京都新宿区日本青年館ホテルにおいて、農林水産省主催「中国輸入促進会議」が開かれ、当町より中野町長と町でリンゴ仲買業を営む太田一民氏が出席し、中国の関係者へ県産リンゴのPRが行われました。

この会議は、中国の北京市内に巨大な日本農産物常設ホール(5000㎡)が設置されるにあたり、中国でも人気の高い県産リンゴを常設ホールで展示販売するために行われました。



春の味覚を一足早く！

冬期間の町の農業振興作物として栽培されている「タラの芽」が、あるじゃの産直コーナーで販売されています。また、見る・育てる・食べるを楽しむ「タラの芽栽培セット」も販売されています。一足早い春の味覚として、天ぷら、和え物などにぜひ試されてみてはいかがでしょうか。

★主な5周年特別企画
○鶴田産小麦使用びつくりパン 3個で1000円(1個350円)
○美濃焼(んぶり)に入った鶴田産大豆 使用せ豆腐200円 ほか多数
■道の駅「つるた」 鶴の里あるじゃ TEL (22) 5656



— 町からのお知らせ —

～果樹農家の皆さまへ～
果樹経営の安心をサポートします

果樹共済に加入しましょう！

23年産加入申込期限は3月25日(金)まで
※町では掛金の一部を助成します。

【広報つるた有料広告欄】

— 地域と共に歩む —
りんごの仕入れと販売の情報は

(株)津軽りんご市場

代表取締役社長 大中 忠 取締役副社長 石戸谷 繁 取締役営業部長 進藤 政光

〒038-3684 青森県北津軽郡板柳町大字三千石字二瀧21-3
TEL 0172(72)1211 FAX 0172(72)1229